

湖北小学校創立 150 周年記念式典 校長式辞

本日ここに、多くの皆様のご臨席の下、我孫子市立湖北小学校創立 150 周年記念式典をこのように盛大に挙行できますことは、誠に光栄であり、慶賀の至りです。また、我孫子市長 星野順一郎様 千葉県議会議員 今井 勝 様、歴代の校長先生方をはじめ、ご来賓の皆様にはご多用中に関わらずご臨席賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。また、式典の開催まで様々な面でご尽力いただきました実行委員会の皆様や草道会長をはじめ、PTA 役員のご苦勞に重ねて感謝申し上げます。

さて、今日は私たち湖北小学校の誕生を祝う会です。湖北小学校は、今年で 150 歳になりました。明治 7 年（1874）、今の龍泉寺を校舎に中峠小学校として開校以来、今日まで 150 年という長い年月が流れました。

その間、開校してから 15 年経った明治 22 年には、中峠小学校から湖北尋常小学校となり、その 4 年後の明治 26 年には今のコホミンの場所に校舎が建てられました。児童が増えてきたこととともなって、校舎を増築しながら発展してきましたが、開校から 103 年後の昭和 52 年 5 月 25 日に今みんなが生活している校舎が建てられ、移転しました。そして、新校舎に移転した 5 月 25 日を湖北小学校の創立記念日と決めたのです。今歌っている校歌は今から 65 年前の昭和 35 年に作られました。みんなが毎日楽しみにしている給食は約 60 年前の昭和 39 年に給食室が作られ、はじまりました。そして、今のプールがつくられたのもその 5 年後昭和 44 年です。次の年の昭和 45 年に我孫子村が我孫子市になったこととともなって我孫子市立湖北小学校という今の学校名となりました。今日、みなさんにプレゼントされるものの中に、湖北小の畑で 3 年生たちが育てたひまわりの種が入っています。その種を育てた畑やみんなの大好きな羊のクッキーが生活しているお家は、昔湖北小の校庭だったのです。地域の人たちや当時の湖北小学校の児童や先生たちで校庭を畑にし、その努力や苦勞のお陰で、今では湖北小学校のシンボルとなっています。

こうした湖北小学校の歩みには、長い年月とともに、この学校に関わり、温かく見守ってくださった多くの人たちの願いが込められています。開校以来、一万三千名を超える卒業生が巣立っていますが、千葉県、我孫子市内にとどまらず、広く日本中で活躍されています。湖北小学校の卒業生の一人である、プロ野球選手、現在千葉ロッテマリーンズのコーチである金子 誠さんは、30 年間プロ野球界で頑張れた気力と体力は、湖北小で全力で学び、全力で遊んできたことで培われたとお話ししています。全ての人が、湖北小をとっても大切に思い、湖北小で学べたこと、一緒に過ごした仲間とともに成長できたことを誇りに思っていることを強く感じます。

今日、ここに御臨席を賜った御来賓の皆様、地域の皆様をはじめとしてその時代時代に未来の湖北小学校への思いを寄せて努力していただいた方々のご尽力のお陰で今私たちは存在しています。150 年間の人々の思いを受けて、私たちは今、ここに存在しています。私は、この 150 周年式典とは、150 年間湖北小を大切にいただいた数多くの皆様に心から感謝する場であると思っています。これまで湖北小のために尽力をいただいた皆様に、児童のみなさんとともに心から感謝申し上げます。

さて、今日の 150 周年記念式典にはもう一つ大切なことがあります。それは、これまでつないでいただいた湖北小学校への思いを受け取り、未来へバトンをつないでいくという役目を担うことです。いうならば、バトンタッチの式でもあります。

今から50年後は創立200周年を迎えます。湖北小学校200周年の記念式典の時、今の1年生は57歳、6年生は62歳となります。これからの50年間の時代を切り拓いていくのは、あなたたちの役目です。その時、皆さんはどこに住んでいるでしょうか。そしてどんな時代を築いているでしょうか。その時、「やさしく かしこく たくましく」の合い言葉は受け継がれているでしょうか。その時の姿をきっと私は見ることはできないでしょう。だからこそ、ここにいる皆さんに、今日御臨席を賜った御来賓の皆様のお思いとともに児童の皆さんに託します。

最後に、創立200周年の時に、ここにいる児童たちが幸せな時代を生き抜いていることを願いつつ、本日ご臨席をいただきましたご来賓の皆様のお思いを重ね、式辞といたします。本日は、誠にありがとうございました。

令和6年1月20日

我孫子市立湖北小学校 第34代校長 長田 英一